

3 一人ひとりの夢を実現

中高が連携した教育を通じて、生徒一人ひとりの将来の夢や希望の実現に向けて支援します。

高校生の活動をモデルに 活動のレベルアップ

- ・探究学習
- ・学校行事
- ・生徒会活動
- ・部活動 など



どの高校へ進学するかの 選択は自由

- ・将来の進路選択を支援するキャリア教育を充実
- ・勝山高校進学希望者には学力検査ではない入試を検討中



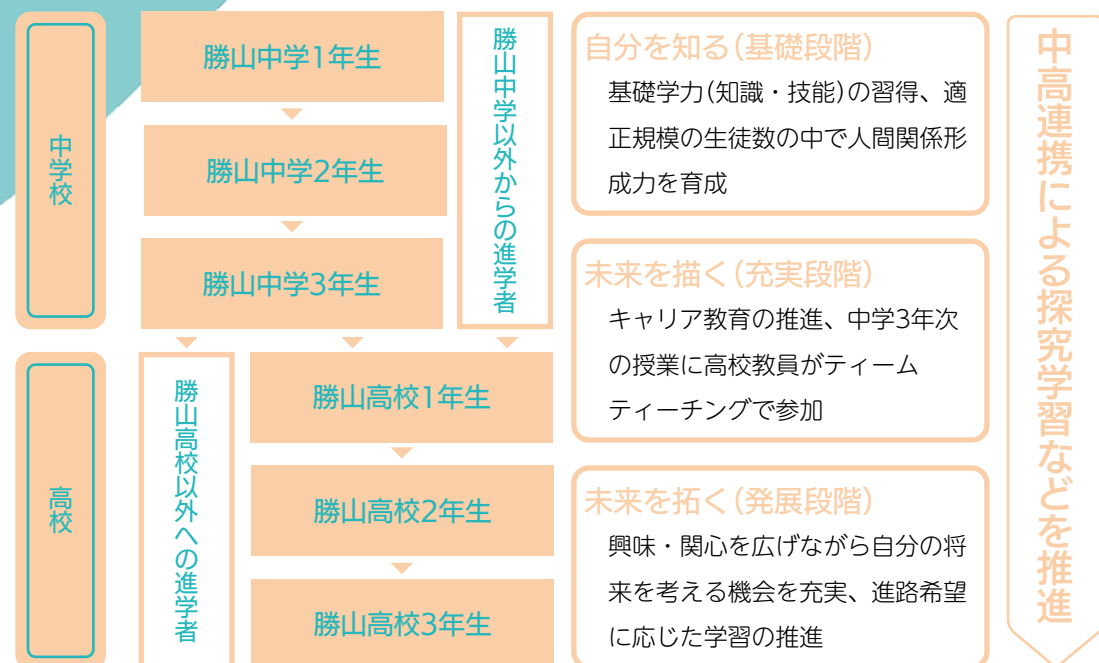
少人数の授業 いろんな先生の授業

- ・英語・数学を勝山高校の先生が応援
- ・各種セミナー（長期休業）
- ・外部の先生(大学や企業)による講座



連携型中高一貫教育

13歳から18歳までは、自分の適性を探り、進路を決めていく年齢になります。子どもの成長は連続しているという視点に立つと、中学校と高校が同一敷地内で連携することで、同学年や異学年の様々な集団活動を通じた交流・協働による学習が可能になります。市がこれまで小中学校で推進してきた『総合的な学習』と勝山高校で推進している『探究学習』を連携・充実するなど、他の高校を志望する生徒も含め、これからの時代に必要な課題解決能力や論理的思考力、情報発信力などの能力を育みます。



自分を知る(基礎段階)
基礎学力(知識・技能)の習得、適正規模の生徒数の中で人間関係形成力を育成

未来を描く(充実段階)
キャリア教育の推進、中学3年次の授業に高校教員がチームティーチングで参加

未来を拓く(発展段階)
興味・関心を広げながら自分の将来を考える機会を充実、進路希望に応じた学習の推進



勝山中学校 5つの魅力

勝山中学校は現在の3つの中学校の歴史を大切にしながらも、勝山の中学生在一堂に集まることにより、これまで以上に魅力的なスクールライフを送ることができます。勝山中学校の5つの魅力を紹介します。

1 たくさんの仲間とともに活気ある学校生活

様々な活動を通して勝山全体の約150人が同学年の友達に。学校全体では約450人。高校生を含めれば約800人の若者が結集。人数が増えることにより自分にあった友達と出会えます。



●学級数 各学年5学級
(3つの中学校混合のクラス編成)

●生徒数 1学年約150人
各クラス30人程度

●授業 50分授業
(勝山高校と同じ)

●部活動 開校前年度の部活は継続
※開校前の交流を検討中

●通学方法(検討中)
学校から1.5km未満：徒歩
1.5km以上：自転車、バス
※遠方は安全のためバス通学を基本とします

●バスの発着はジオアリーナ
・各地区から路線バスで学校へ
・料金は無料
・朝1便・夕方2便



2 みんなの力が伸びる校舎

連携型中高一貫教育のメリットを最大化し、年齢を超えた交流・学びを促進する新しい校舎。中高の交流や個別学習ができるメディアセンターや様々な学習に活用できる多目的室など、生徒の成長を支援します。また、特別支援学級(最大6室)や外から直接入室できる相談室3室を設置するなど支援体制も充実します。



普通教室は従来より広く、また廊下側を開放できるようにしつらえて、明るく学習しやすい環境となります。背面には収納スペースが大きい個人のロッカーを配置します。



廊下は幅を広くとり、ギャラリー、本棚などを設けます。交流や学習などを促す空間となります。



読書や情報学習などの中心となるメディアセンターにつながる大階段。本棚などを設け、授業や集会、交流などに活用できる空間となります。

ジオアリーナと校舎をつなぐ安全で便利な地下横断歩道

- ・天候に左右されず短時間で移動可能
- ・幅5.5mの広くて明るい学校専用の通路
- ・出入口はオートロック
- ・内部には複数の防犯カメラを設置
- ・内履き・外履き両方での移動が可能

